

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	言語コミュニケーション文化研究科
大項目	11 教員・教員組織
中項目	
小項目	11.0.1 大学として求める教員像および教員組織の編制方針を明確に定めているか。
要素	教員に求める能力・資質等の明確化 教員構成の明確化 教員の組織的な連携体制と教育研究に係る責任の所在の明確化
小項目	11.0.2 学部・研究科等の教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。
要素	編制方針に沿った教員組織の整備 授業科目と担当教員の適合性を判断する仕組みの整備 研究科担当教員の資格の明確化と適正配置(院・専院)
小項目	11.0.3 教員の募集・採用・昇格は適切に行われているか。
要素	教員の募集・採用・昇格等に関する規程および手続きの明確化 規程等に従った適切な教員人事
小項目	11.0.4 教員の資質の向上を図るための方策を講じているか。
要素	教員の教育研究活動等の評価の実施 ファカルティ・ディベロップメント(FD)の実施状況と有効性

○2009年度からの目標

1. 増加する後期課程学生・研究員への対応のため、後期課程指導教員、後期課程セミナーの担当者を増員する。
2. 教員の資質向上を図るため、FDワークショップを毎年実施する。
3. 各研究領域の教員数に関する基本方針を明確にし、アンバランスを是正する。
4. 2007年に開設した日本語教育学プログラムの充実のため、日本語教育担当教員の採用を行う。

○指標

1. 後期課程指導教員数。言語コミュニケーション文化セミナーの担当者数。
2. FDワークショップの開催数、参加者数。成果公表。
3. 基本方針の策定。
4. 途中退職者の教員補充の円滑な実行。